

# ハンドブック ワンポイント レッスン

## 知っておきたい規則とルール

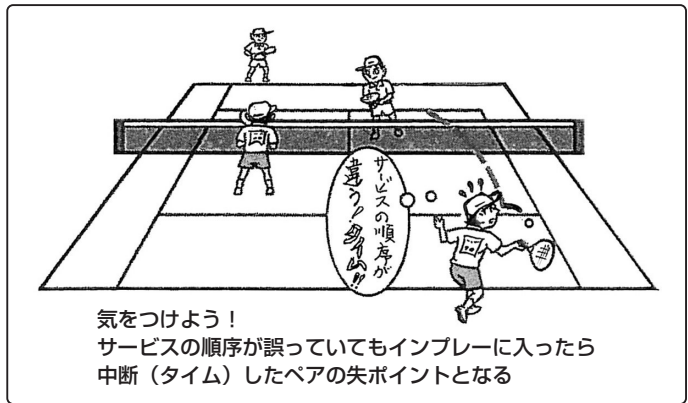
### Question

大会で実際にあった質問ですが、サーバー側がパートナーとのサービスの順序を誤ってサービスが打たれ、インプレーになりました。相手側レシーバーのプレーヤーがサービスの順序が間違っていることに気づき、インプレー中にもかかわらずタイムを要求しながらプレーを中断してしまいました。審判も間違えていた事に気づきレットとコールし、結局やり直してゲームを続けましたがこの判定は正しいのでしょうか。

### Answer

サービスの順序が誤っていてもインプレーでは中断したペアの失ポイント

この判定は誤っています。インプレー中に誤りに気付いてプレーを中断した場合は、中断したペアの失ポイントになります。このことは、競技規則第33条（サービスの順序又はサイドの誤り）の第1条第2項パートナーとのサービスの順序の誤りが発見された場合（ローテーションチェンジ）にかかわることで【解説13】に該当します。質問では、サービスが打たれインプレーになった時点でサービスの順序が間違っていることに気づき、タイムを要求しながらプレーを止めています。ここに問題があります。審判がルールを理解されていないためにサービスの順序が間違っていることに気づき、レットにしてやり直したことです。なお、審判がタイムの要求を認めたようにも受け取れます。この質問では、インプレーの前に気が付いていればそのポイントから、インプレー後であれば次のポイントから訂正することになっています。ともかくレシーバー側がインプレーを中断しましたので【解説13】の『誤りに気付いてもインプレーでは、プレーを中断しない。中断した場合は、中断したペアの失ポイントとする。ただし、サービス時にレシーバーが気づき、レシーブ態勢に入らず「タイム」と言って中断することは認められるが、レシーブ後は中断したプレーヤー又はペアの失ポイントとする。』により、中断したペアの失ポイントとなります。



### 関連規則

#### 競技規則第33条（サービスの順序又はサイドの誤り）

1. サービスのチェンジ又はサイドのチェンジの誤りが発見された場合は、インプレー前であればそのポイントから、インプレー後であれば次のポイントから訂正する。それまでのポイントは有効とし、誤りに気づいてもインプレーではプレーを中断しない。
  - (1) サービスのチェンジを誤った場合（チェンジサービス）。サイドのチェンジを誤った場合（チェンジサイズ）。
  - (2) パートナーとのサービスの順序を誤った場合（ローテーションチェンジ）。
  - (3) サービスコートの順序を誤った場合（ローテーションチェンジ）。
2. 誤りが第1サービスのフォルトの後に発見された場合は、その時点で正しい順序に訂正し、第1サービスから行う。

【解説13】 誤りに気づいてもインプレーでは、プレーを中断しない。中断した場合は、中断したペアの失ポイントとする。ただし、サービス時にレシーバーが気づき、レシーブ態勢に入らず「タイム」と言って中断することは認められるが、レシーブ後は中断したプレーヤー又はペアの失ポイントとする。